

第1回印西市都市マスタープラン策定委員会会議録

日 時	令和元年8月6日（火）午前10時00分から午前12時00分まで	
場 所	印西市役所 庁舎別館1階 農業委員会会議室	
出席者	委 員	大崎委員、吉村委員、米井委員、浅野委員、小名木委員、小幡委員、南木委員、井関委員、堀川委員、麻生委員、松田委員
	印西市	板倉市長 都市建設部：川嶋部長 都市計画課：笛田課長、飯島課長補佐、鈴木係長、宮崎主査
	昭和株式会社 (委託業者)	原口、武内、野本
欠席者	なし	
傍聴者	4名	
議 題	<p>日程第1 会長、副会長の選出</p> <p>日程第2 会議録署名委員の指名</p> <p>日程第3 印西市都市マスタープラン策定基本方針について</p> <p>日程第4 アンケートの実施について</p> <p>その他 都市マスタープラン策定に係る事例紹介</p>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 委員名簿</li> <li>・ 印西市都市マスタープラン策定委員会設置要綱</li> <li>・ 【資料1】 印西市都市マスタープラン策定基本方針について</li> <li>・ 【資料2】 アンケートの実施について</li> <li>・ 【資料3】 都市マスタープラン策定に係る事例紹介</li> </ul>	

## 議事の概要

進 行 定刻前ではございますが、皆様お揃いですので始めさせていただきます。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日の進行につきましては、私、都市計画課の飯島が務めさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。本日の予定でございますが、初めに「印西市都市マスタープラン策定委員の委嘱状交付式」を行いまして、その後に「都市マスタープラン策定委員会」を開催させていただきますので、よろしくお願いいたします。

進 行 それでは、これより委嘱状交付式を行います。委嘱状は、市長より交付させていただきます。なお、都市マスタープラン策定委員会設置要綱第3条に掲げている、各項ごとの五十音順にてお名前をお呼びいたしますので、その場でご起立くださいますようお願いいたします。

進 行 大崎 淳史 様  
吉村 彰 様  
米井 絹恵 様  
浅野 敏一 様  
小名木 茂子 様  
小幡 和男 様  
南木 宏和 様  
井関 和朗 様  
堀川 定士 様  
麻生 雅通 様  
松田 光司 様

それでは、改めまして、委員の皆様をご紹介させていただきたいと思っております。

### 学識経験者として

東京電機大学准教授 大崎 淳史 委員  
同じく東京電機大学名誉教授 吉村 彰 委員  
同じく印西市農業委員会委員 米井 絹恵 委員

### 関係団体として

特定非営利活動法人印西市観光協会副理事長 浅野 敏一 委員  
同じく印西市社会福祉協議会理事 小名木 茂子 委員  
同じく印西市商工会副会長 小幡 和男 委員  
同じく独立行政法人都市再生機構

東日本都市再生本部宅地業務部業務管理課長 南木 宏和 委員

### 市民公募の

井関 和朗 委員  
同じく堀川 定士 委員

	<p>関係行政機関として  千葉県印旛土木事務所次長 麻生 雅通 委員  同じく千葉県企業局土地管理部土地事業調整課副参事  (兼)ニュータウン事業室長 松田 光司 委員  以上の11名様でございます。  皆様、よろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、板倉市長よりごあいさつを申し上げます。</p>
市長	<p>皆様おはようございます。印西市長の板倉正直でございます。本日は暑い中、皆様お越しいただきまして誠にありがとうございます。皆様におかれましては、日頃より、市政運営並びに都市計画行政に関しまして、多大なるご支援と、ご協力を賜っておりますことに、この場をお借りしまして、厚く御礼を申し上げます。また、このたびは、都市マスタープラン策定委員につきまして、快くお引き受けいただき、誠にありがとうございます。さて、当市におきましては、平成16年度に印西市都市マスタープランを策定し、その後、平成24年度に改定を行い、まちづくりの基本方針としているところでございますが、目標年次となる令和2年度を迎えることから、今年度と次年度の2か年をかけまして、次の都市マスタープランを策定するところでございます。計画の詳細につきましては、この後、担当よりご説明させていただきますが、委員の皆様には、今後の印西市のより良い発展のために、それぞれのお立場で、忌憚のないご意見をいただきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。以上、簡単ではございますけれども、私の挨拶とさせていただきます。</p>
進行	<p>以上をもちまして、委嘱状交付式を終了いたします。ここで、少々お時間をいただきまして、本日、出席しております職員を紹介させていただきます。川嶋都市建設部長、よろしく願いいたします。</p>
川嶋部長	<p>(出席職員紹介 笛田課長、飯島課長補佐、鈴木係長、宮崎主査)</p>
進行	<p>本日は、職員のほか、都市マスタープラン策定の策定支援業務を委託しております昭和株式会社も出席しておりますので、よろしく願いいたします。</p>
進行	<p>次に、議事に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。  本日の資料は、「次第」、「委員名簿」、「印西市都市マスタープラン策定委員会設置要綱」、「資料1」、「②計画の構成詳細版」、「資料2」、「資料3」の以上でございます。不備等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、これより、第1回印西市都市マスタープラン策定委員会を開催させていただきます。</p>
進行	<p>はじめに、ご報告が2点ございます。1点目は会議の公開と傍聴でございますが、当審議会は印西市市民参加条例の規定により、公開とさせていただきます。</p>

	<p>本日の傍聴者は4名いらっしゃいます。2点目は会議の記録でございますが、会議録を作成する都合により録音と記録写真をとらせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
進 行	<p>それでは、議事に入らせていただきたいと思います。なお、議事進行につきましては、都市マスタープラン策定委員会設置要綱第6条第1項の規定により、会長が議長となり、会議を進めていくことになっております。しかし、今回は初回ですので会長が決まっておりません。つきましては、会長が選出されるまでの間、市長が臨時に議長を務めさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>(異議なしとの声あり)</p>
進 行	<p>ありがとうございます。それでは、市長を臨時の議長とさせていただきます。</p>
議 長	<p>それでは、会長が選出されるまでの間、臨時に議長を務めさせていただきます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。本日の議事日程については、お手元の次第に沿って進めてまいります。</p>
議 長	<p>【日程第1 会長の選出】 それでは、「日程第1 会長の選出」に入ります。事務局、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、会長、副会長の選出について説明いたします。会長、副会長の選出につきましては、印西市都市マスタープラン策定委員会設置要綱第5条第1項の規定により、委員の互選によりこれを定めるとされております。従いまして、先ほど委員にご就任いただいた委員の皆様から、選出することになります。方法につきましては、推薦方式を採用されてはいかがかと考えております。</p>
議 長	<p>それでは、皆様にお諮りします。事務局より、会長、副会長は任命された委員の中から推薦により選出するという提案がありましたが、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>(異議なしとの声あり)</p>
議 長	<p>「異議なし」と認めます。会長、副会長の選出方法は、委員の中から推薦により行うこととします。それでは、どなたか会長、副会長を推薦していただけますか。</p>
小幡委員	<p>はい、議長。</p>
議 長	<p>小幡委員。</p>
小幡委員	<p>委員の小幡でございます。本日は委員の皆様は、初めての会議ですので、ここ</p>

	は事務局の方より、会長・副会長の案を出していただくというのはいかがでしょう うか。
議 長	はい。他にご意見ございますか。
委 員	(特になし)
議 長	ただ今、小幡委員から、事務局から案を出していただきたいとのご意見があり ましたが、よろしいでしょうか。
委 員	(異議なしとの声あり)
議 長	それでは、事務局から案はありますか。
事務局	事務局より会長及び副会長につきまして提案させていただきます。本委員会 は、知識経験を有する方といたしまして、東京電機大学の方がお二人いらっしゃ います。東京電機大学の吉村委員におかれましては、すでに印西市総合計画審議 会の会長を務めていらっしゃいますので、会長に大崎委員、副会長に吉村委員と して、当策定委員会を組織することがよろしいかと考えます。以上です。
議 長	それでは、お諮りします。会長に大崎委員を、副会長を吉村委員にお願いするこ とについて、異議ありませんか。
委員	(異議なし。)
議長	「異議なし」と認めます。 それでは、会長に大崎委員を、副会長を吉村委員にお願いしたいと思います。 大崎委員、吉村委員、お引き受けいただけますか。
大崎委員	はい。
吉村委員	はい。
市 長	ありがとうございます。それでは、会長が大崎委員、副会長が吉村委員に決定 しました。
進 行	それでは、大崎会長、会長席へご移動お願いします。
進 行	それでは、大崎会長にご挨拶をお願いしたいと思います。
大崎会長	この度、会長職をおおせつかりました、東京電機大学の皆様でございます。 皆様よりご協力をいただきまして、微力ではございますが、努めてまいりたい と思っておりますので、よろしくお願いたします。

市長	それでは、新会長が決まりましたので、臨時の議長としての職務を終わらせていただきます。皆様、ご協力ありがとうございました。
進 行	大変申し訳ありませんが、市長はこの後、公務がございますので、ここで退席させていただきます。ご了承ください。  (市長退席)
進 行	それでは、これからの進行は大崎会長にお願いしたいと思います。
大崎会長	それでは、議長を務めさせていただきます。ご協力をお願いします。
大崎会長	<b>【日程第2 会議録署名委員の指名】</b> まず、「日程第2 会議録署名委員の指名」に入ります。事務局、説明をお願いします。
事務局	はい、ご説明いたします。本審議会におきましては、「印西市市民参加条例」に準じて、審議会の会議及び会議録等を公開する事となっており、本審議会の会議録は、要約方式で作成しております。会議録の内容は、会長と策定委員会の開催毎に会長が指名する会議録署名委員の合計2名でご確認をいただき、確定させていただいております。つきましては、会長より、本日の審議会における会議録署名委員1名の指名をお願いいたします。
大崎会長	ありがとうございます。それでは、私から本日の会議録署名委員を指名させていただきます。本日の会議録署名委員には、米井委員を指名させていただきます。よろしくをお願いします。
米井委員	はい。
大崎会長	<b>【日程第3 印西市都市マスタープラン策定基本方針について】</b> それでは、日程第3に入りたいと思います。印西市都市マスタープラン策定基本方針について、事務局より説明をお願いします。
事務局	<b>【印西市都市マスタープラン策定基本方針について説明】</b>
大崎会長	ただ今の説明に対しまして皆様より質問等ございますでしょうか。
委員	(特になし)
大崎会長	では、もし質問のある方はまた後ほどまとめていただければと思いますので次に移ります。

大崎会長	<p>【日程第4 アンケートの実施について】</p> <p>では、日程第4に入りたいと思います。アンケートの実施について、事務局より説明いたします。</p>
事務局	<p>【アンケートの実施について説明】</p>
大崎会長	<p>ありがとうございます。ではただ今のアンケート調査に関しまして、皆様から何かご質問ございますでしょうか。</p>
堀川委員	<p>アンケートの前提として、2,000名の方を抽出して行うとありますが、いつも他の委員会等で聞いていると、旧市街、合併で生じた市街、千葉ニュータウン中央など、地域で非常に意見の幅があるような感じを受けています。2,000名の方をランダムに抽出する際にそういう偏りについて考慮されていますか。</p>
大崎会長	<p>今の質問に対しましてどうでしょうか。</p>
事務局	<p>各地区はそれぞれ人口が異なりますので、その人口割合に応じた形でアンケートを行います。無差別抽出と言いながらもその辺は配慮して実施してまいりたいと考えています。</p>
堀川委員	<p>そのメッシュはどれ位ですか。要するに、旧市街とか千葉ニュータウン中央とか、どれ位のメッシュで行うつもりか分からないと、大きなメッシュで行った時に偏りが解消できるのかという不安があります。なぜこういう事を申し上げるかという、いつも他の委員会等でアンケートを採った時に、地区によっては凄く偏りが出ますので、メッシュを細かく補うことで偏りも幾分傾向がより顕著に掴めるのではないかという印象を持っています。メッシュを1キロ四方にするのか、5キロ四方にするのかなど、決まっていたら良いのですが、考慮して行うということは分かりましたが、具体的にどの位の角度をもって補正できるのかと思っています。</p>
大崎会長	<p>千葉ニュータウン地区とその他という区切り方だとかなり意見に偏りが出てしまうので、メッシュの区切り方をどれくらい細かくするのかというご質問ですけどもいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>資料2の7頁をご覧いただきたいと思います。参考としまして、地区名と町丁目がございます。こちらは印西市内を12地区に分けております。この12区分でアンケートを実施して、地区ごとにデータの解析をしてまいりたいと考えているところですがいかがでしょうか。</p>
堀川委員	<p>12地区に分けて実施されるということは分かりました。いわゆる千葉ニュータウンなどで働いている方と働いていない方、いわゆる昼人口夜人口は考慮されているのでしょうか。ああいう所ではビルが建っているおかげで昼は人口が激増するけれども夜になると激減します。</p>

大崎会長	オフィス地区と住宅が中心になっているような所とは差が出るという話ですがどうでしょうか。
事務局	現在は居住人口割合で抽出数に配慮することを想定していますが、今いただいたご意見を踏まえまして再度検討させていただきたいと思います。
麻生委員	対象とする2,000名というのは人口の何%にあたり、どのように算出したのでしょうか。
事務局	必要サンプル数というのがありまして、人口10万人に対し96サンプルとなっております。96のアンケート結果を回収できれば、誤差の範囲内として説明がつく手法です。アンケート1度につき回収率が約40%ですので、96サンプルを回収するためには250必要になります。今回のアンケートは12地区に分けますので、それぞれの地区に250配布すれば足りるということになります。単純に250×12地区では3,000弱になりますが、地区により人口の少ない所もありますので、地区によっては人口に応じた形で必要数が250より少なくても出てきます。誤差の範囲を守り人口に応じた数とした結果、2,000としております。細かい数字まで出すと少し分かりにくくなりますので誤差の範囲内とさせていただきます。
麻生委員	96の必要サンプル数とは何でしょうか。
事務局	10万人全員の意見を採るためには96サンプル取れば誤差±5%の範囲内で結果が出るという、統計学上の数字です。
麻生委員	回収率が40%とした結果、大体皆様の意志が反映されている数ということですね。
事務局	はい。
小名木委員	今の12地区のそれぞれの必要数が一緒ということですか。3の千葉ニュータウン中央地区などは人数的に多くて旧地区と比べて人口比率が大きく違います。
事務局	12地区それぞれに同じ数を配布するものではないです。
小名木委員	人口に対するパーセンテージで実施するということなら良いです。
事務局	地区ごとに配布するアンケート数は違うのですが、誤差の範囲内で実施するという事です。
堀川委員	アンケートの実施方法でもう一つ疑問に思っているのは、千葉ニュータウン中央地区や他地区の人口構成も配慮されているのかどうかです。頭割でやるという

	<p>ことは単に全て平等に行うという考え方ですが、人口構成比は千葉ニュータウンは若い人が多く、他地区は高齢者が多い等、各地区によりかなり異なり、それを考慮しないで行うことに意味があるか疑問に思います。人口構成も考慮しながら2段階3段階の色々な統計の取り方を考えて行かないと、単純に人口割合だけで行うことに疑問があります。</p>
大崎会長	<p>ただ今のコメントも含めて回答いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>先ほど2,000件の件数については、少ない人口の地区でも必要数、誤差のない範囲でアンケートを回収します。アンケートの内容について、例として現行計画の124頁をご覧ください。想定地区についてはアンケート調査を行い反映しているところでございます。このように全体構想をつくり、その後に地区別構想を作成しますが、地区別構想においてアンケートの考察をマスタープランに書きこんで策定していきたいと考えております。</p>
堀川委員	<p>もしよろしければ人口構成と内容も考慮しながら実施していただければと感じております。</p>
大崎会長	<p>そうすると同じ質問票を送るのだけれども、それぞれの地区に応じてそれぞれの特色が回答から現れるような内容にして欲しいということですか。</p>
堀川委員	<p>それもありますし、端的に言えば年齢構成を20位に細かく分ける、高齢者を含む60歳前後で分けるなどしないと、若い人が考える未来像と70～80の人が考える未来像は違うと思いますが、その辺を平等に扱えるのかという単純な疑問があります。</p>
事務局	<p>都市マスタープランのアンケートを細かく対象者を絞って出すというのが一番望ましいと考えております。それらの意見を踏まえて今後アンケートの作り方について検討していきたいと考えております。</p> <p>アンケートは無作為抽出で配布しますので、年齢との関係等は考えておりません。無作為抽出という条件でアンケートをとり、マスタープランを策定するうえで、パブリックコメントなり、地区別説明会等でアンケートから漏れた方の意見を吸い寄せて策定したいとも考えておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>現在の抽出の形では18歳以上の市民の方2,000名の無作為抽出ですが、地区ごとの状況を踏まえて配布してはどうかという委員の方のご意見を踏まえて、今後検討してまいります。アンケートの集計の段階においてクロス集計を行います。年齢や性別などの属性を区分した形での集計も行いたいと考えています。</p>
井関委員	<p>質問と意見です。まちの基本的なことを考えると、まちの構成員は住んでいる人、働いている人、学生や買い物に来る人、インバウンド等で他所から来る人など、どうも居住都市、住んでいる人の意見は丁寧に聞いて、まちの魅力や幸せ度は住んでいる人が基本に挙がるけれども、働いている人やショッピングに来る人</p>

	<p>など色々な短期滞在者も含めて、オフィス街で沢山人がいても住民でなければ帰ってしまうが、12時間とか家よりも長い時間印西市で過ごされているので、当然ある意味重要です。そういう人達をどうやってマスタープランの中で意見を汲み取るのか良くわかりません。</p> <p>せっかく千葉ニュータウンが、居住都市、いわゆるベットタウンから卒業して、今の店舗だとか、賑わいは住んでいる人プラス魅力を感じて市外から訪れた人が盛り上げているわけです。そういった人のニーズをどうやって計ろうとしているのか、また、そのような視点で来街者の満足度を都市計画に反映している事例があるか、お聞きしたい。</p>
事務局	<p>1点目の、住んでいる方以外の意見や考え方を収集する方法は、来年度市内に在住の方を対象に、ホームページ等で意見募集をするパブリックコメントの実施を考えているところです。委員がおっしゃるように、都市づくりにおいて、住み良いまち、働きたいまち、訪れたいまちという部分も考えていくべきだと思います。定住人口の増加と交流人口の増加についても、パブリックコメント等、今後委員からいただいたご意見を参考にして進めさせていただきます。</p>
井関委員	<p>2点目についてはどうでしょうか。</p>
大崎会長	<p>2点目については、この後、他の自治体の取組についてご説明があるのですが、その中にあれば少し指摘をいただきながらご説明いただきたいと思うのですがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>事業者向けアンケートというやり方もありますので、事務局で検討させていただければと思います。</p>
小名木委員	<p>前回のマスタープラン策定時において、市内に住んでいる人の都市計画についての考え方はあると思うのだが、井関委員のご意見にあった対象者に対してはどうだったのですか。</p>
事務局	<p>前は、パブリックコメントは実施しましたが、事業者向けアンケートは実施していません。</p>
小名木委員	<p>良い意見ですので、それを反映していただければよりステップアップしたものになると思います。</p>
井関委員	<p>来街者に対するアンケートは難しくパブリックコメントをホームページで募集してもなかなか意見は寄せられないと思います。本当に意見募集するのであれば作戦を立てて、作戦が当たっているか立証するなどしないと弱いと思います。仕事を増やして恐縮ですが、住んでいる人のまちであると同時に、訪れる人の満足度が増えるためにはどうしたらよいかを検討していただきたい。</p>
小名木委員	<p>私は旧市の住民で、そこから見るとジョイフルなど集客が多くて、週末付近を</p>

	<p>走ろうとは思わないくらい多数の方が印西にいらしていると思いますので、来街者の意見について考えることは重要だと思います。身近にも日本一の住み良いまちということで引っ越してきた人が複数いますから、そういうことも考えて反映した方が良いと考えます。</p>
事務局	わかりました。
大崎会長	ありがとうございます。
大崎会長	<p><b>【議事日程の終了】</b></p> <p>以上で予定しておりました議事日程は終了いたしました。ご協力いただき、ありがとうございます。進行を事務局にお返しいたします。</p>
事務局	大崎会長ありがとうございました。
進 行	<p><b>【次第3 その他】</b></p> <p>それでは、次第3の「その他」に入らせていただきます。ここでは参考としまして他の自治体における都市づくりの事例紹介をさせていただきます。先ほども話がありましたが、当市は東洋経済新聞の住み良さランキングで7年連続日本一となったところでございますが、今後10年間の都市づくりの方針を皆様のご意見を踏まえながら作っていく訳ですが、印西市は昨年人口10万人を突破しましたが、今後当市においても人口減少、少子高齢化というものも考えていかなければなりません。参考までに申し上げますと、ちばぎん総合研究所が千葉県内市町村の10年後の状況について推計していますが、人口20万未満の自治体において、約7割が赤字に転落する可能性があるとしています。そういうことも踏まえて、今後2年間で印西市の都市マスタープランを策定していく訳ですが、他市の事例ということで参考までに挙げさせていただきますのでよろしく願います。</p>
昭和(株)	<b>【都市マスタープラン策定に係る事例紹介】</b>
進 行	委員の皆様から何かご質問等ございませんでしょうか。
南木委員	選ばれた自治体と印西市との関係や類似点等の視点があるのでしたら、お聞かせいただきたいと思います。
事務局	<p>資料3の2頁目の「策定における基本的視点」は、印西市が今後都市マスタープランを策定するうえで基本的視点と考えているものです。②と③と④について参考となるような事例を今回紹介させていただきました。</p> <p>例えばニュータウン事業が収束した後のまちづくりをどうするかということでは、ニュータウンを抱える白井市や多摩市、既成市街地と新市街地との関係については流山市、印西市の場合は人口は微増している所ですが、人口減少に対するまちづくりということで静岡市を挙げさせていただきました。</p>

進 行	他に何かございませんでしょうか。
堀川委員	今の策定の基本的視点の②人口減少、高齢化、③千葉ニュータウン事業の収束、この収束とは、小さく集まっていくという理解で良いと思います。要するにこれ以上開発していかないという考えだと思うのですが、そうするとどうしても千葉ニュータウンや印西市の発展はこれ以上ない、この範囲でやっていくことを目指すということで良いですか。
事務局	千葉ニュータウン事業は収束したのですが、まちとして今後とも発展していくという意味でございます。そういった中で持続可能な発展を続けていくようなまちづくりを目指していきたいということです。
堀川委員	<p>今回の安倍政権の話等を聞いていると、人口減少高齢化に伴い、外国人を積極的に誘致するという事は決まっている訳です。人口減少高齢化を補填する形で外国人の方が大勢入ってきてまちがにぎやかになる可能性もなきにしもあらずで、そういった中で今の収束段階でこのことを考えているのは一つの考え方だと思いますが、どの省庁がすすめていくのかわかりませんが、もう一度住み分けを広げていくという考え方もあって良いと思います。</p> <p>もう1つは、千葉ニュータウン、印西市自体が今の形態で見直して行くのか、それとも例えば浦安市にディズニーランドがありますが、あのような大規模なエンターテイメント等を作る計画が出たとしたらものすごい人が集まってきて税収が激増すると思います。成田空港もそうですし、そういう計画で見直しをして、まちをもっと活性化させる方向で行くのか、先ほどのちばぎん総合研究所の7割の市町村の赤字という推計は何がもとで転落していくのか、その原因を知りたいです。原因がわかればそれを軽減させて、人が集まりお金が集まるまちにする。カジノ構想もありましたが、人を集めてこないのにぎやかにもならないし、衰退していく、それが赤字につながるのではないかと考えています。その辺のことを教えてもらいたい。</p>
小名木委員	印西市はニュータウン事業に沿ってここまで発展してきました。印西の形をどう発展させていくべきか、市として自分たちで考えて、事業が終わった段階からの在り方を見つめていかななくてはならないと思います。外部から起こった発展でなく、その先についてはまず安定させていく必要があるのではないのでしょうか。
大崎会長	まちのコンパクト化を進めるという考え方があるということは、当然まちをたたんでいかななくてはならないということも出てくる訳です。印西市としてどうしていくか、私も考えていきたいと思います。
事務局	皆様のご意見を踏まえながら、検討してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。
進 行	他に何かございませんでしょうか。

井関委員	<p>5年前に合併して新しい都市マスタープラン、その前は平成16年に策定ということで、これからの10年を考える上では、今までの10年、あるいは合併によって得た大きな資源について、合併の際にどういう作戦を立てて、その作戦は継続中なのか、今回アンケート等で評価が出ようとしています。居住環境としての評価は相当丁寧に出て、もしかしたら静かで道路が少ない安らぎのまちに票が集まるかもしれません。それが本当に新しい発展、まちの幸せになるか分かりませんが、過去のトレンドや少なくともこの5年、10年何を作戦立てたか、その結果についての評価報告が聞きたいと思います。それを聞くことで今は大変だがレールに乗っているのだとか、いや、レールを探しているのだということが分かるかもしれません。</p>
事務局	<p>現計画の評価については、現在事務局で進捗状況や課題の整理を進めている所です。次回以降に現計画の評価と共に、印西市の現状と課題を洗い出したものについて皆様にご提示して、ご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p>
堀川委員	<p>10年間のスパンで物事を考えておられますが、10年間のうちの5年、あるいは3年や2年毎の区切りでの評価はされてきたのでしょうか。</p> <p>また、都市マスタープランでは、市がどういうふうになっていくべきか基本的に決めるべきだと思います。ニュータウンが収束し、開発が終わった範囲内でやっていくのか、人口を増やして発展させるのか、最初に決めないと大きく違ってくると思いますが、どのように考えておられますか。</p>
事務局	<p>進捗状況につきましては、10年の間に2、3年置きに評価をしております。特別な検証はやっておりませんが、今回事業の評価をいたしまして、次回以降委員の皆様にご提示したいと思っております。今後のまちづくりの方向性につきましては、現時点でご提示できなくて申し訳ございませんが、今後事務局で現状を踏まえた形の資料をご提示し、ご意見をいただきたいと考えております。</p>
小幡委員	<p>マスタープランで印西市は将来どのようなまちにするか、目標のようなものはあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在印西市の最上位計画である印西市総合計画を策定中です。その中で印西市のまちとしての計画の大きな方向性が示されますが、それに則した形でマスタープラン、都市づくりの方針を策定していきます。総合計画の策定状況を情報交換等しながら進めてまいりたいと思っております。</p>
小幡委員	<p>例えば印西市は将来医療都市に向けていくとか、住み良いまちにするため環境保全に専念するとか、統合整理して交通網で日本で一番移動しやすいまちにするとか、先日出た別の会議開催地は、高齢化が進んで免許の返納が進み移動手段が公共機関で運営するバス、もしくは自分達で資金を出して運行するバスしかないというところでしたが、今後高齢化に向けて買い物や医療施設に移動するための</p>

	<p>交通機関を充実させるとか、将来をどのように見つめていくかを一つのキープランにして考えていかないと、我々も都市を何地点か結ぶだけのマスタープランを考えるとというのは漠然としていますので、何か1つ目標を作っていただいた方がよいと思います。</p> <p>もう一つ、70年近く住んでいる旧農村部は生活排水の問題に非常に困っています。そのような環境保全をどうするか、印西市は環境保全に十分力を入れているとか、木の伐採や草刈ゴミの焼却処理に関連して温暖化の問題、環境や交通網の問題が色々考えられますが、これらはマスタープランとして考える問題となるでしょうか。</p>
事務局	<p>今後都市マスタープランを検討していく手順として、本市が抱える課題を整理させていただきます。その中に市民アンケートや施設の整備状況などを整理して、それに基づいた都市づくり方針や将来都市構造等を検討してまいります。それから都市づくりの方針ということで現計画では大きく5つの方針、土地利用や都市施設に関する方針があります。その中で例えば道路、交通施設に関する方針、ゴミ処理施設に関する方針、上下水道に関する方針、環境問題、都市環境に関する方針、自然環境に関する方針、景観まちづくり、安全安心なまちづくり等、今後分野ごとの方針についてご検討いただく予定でございますので、その際はよろしくお願いいたします。</p>
小幡委員	<p>まずひとつ将来像はどのような市にしたいかをよろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>その辺りについては今後検討していくところですので、総合計画と整合を図りながらまたご報告させていただきたいと思います。</p>
小名木委員	<p>都市マスタープランは総合計画がもとになっているので、そちらがわからないと出来ないことがあります。緑の基本計画や環境基本計画など全部が関係していて、私達もそれらを分かったうえで都市マスタープランを検討する必要がありますので、ある程度の情報を流していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>総合計画と調整を図り、ご報告をしながら検討していきたいと思います。</p>
小名木委員	<p>資料1の10頁に地区別説明会とパブリックコメントがありますが、これはあくまでも構想案が出来てからのことでしょうか。アンケートももちろん必要ですが、構想案が出来る前に地域の声を集めるために、地区別の意見を聞く会等を設けることは出来ないでしょうか。</p>
事務局	<p>現在のところは地区ごとの意見を聞く手段としては、アンケートを考えているところです。</p>
堀川委員	<p>旧態然としたアンケートをとってそれを元にやるということは、総合計画との整合性とアンケートが乖離していれば何の役にも立たないと思います。総合計画との整合性を考えて、総合計画の目指す目標をある程度知らしたうえで、それを</p>

事務局	<p>元にアンケートを採った方が良いのではないのでしょうか。印西市の総合計画の方向性をうたい、その計画に対しての意見を聞いた方が良いと思います。</p> <p>今いただいたご意見を踏まえて庁内で調整させていただきたいと思います。</p>
吉村副会長	<p>総合計画の座長をしているので私から。基本的には印西市はほとんど市街化調整区域です。ここをどうしていくのかは市長や各課から出てくるもので、それに対して我々はコメントを言う立場だと思います。市の方針が出てこないコメントが出来ませんが、総合計画は、都市マスタープランとほぼ同時並行で、過去10年間の評価をして、今後10年どうするのかを検討しています。都市マスタープランは総合計画に準じて策定されるので、そこは市の能力や努力に準じる場所ですが、それが出てきたことにコメントをすることだと思います。</p> <p>総合計画では、ワークショップをやっています。そこでは、将来像、理想を聞きまとめています。ニュータウンの方や印旛、本埜、今回は中学生に聞くことになっています。</p> <p>良い意見として、物流センターが広範囲で出来ていることに対する交通網の計画はどうなっているのか、という意見がありました。事例にもありましたが、今回の都市マスタープランの策定では大きな視点になりそうな気がするので、そういった点で総合計画や都市マスタープランがリンクしながら進んでいくと思っています。</p>
事務局	<p>そのような認識で進めています。</p>
小名木委員	<p>総合計画は都市マスタープランの上位計画になっているという資料がありましたが、連携が取れていることが分かっていて、ある程度の方針が見えた段階で我々に示して頂き、説明して頂ければと思います。</p>
事務局	<p>そのように進めていこうと考えています。資料1の4頁に都市マスタープランの位置づけの資料がありますが、印西市の総合計画、県の印西都市計画マスタープラン、国や県の計画に即した形で策定していきます。市の総合計画については吉村委員の発言にあった通りほぼ同時進行で進めています。当委員会であった意見を総合計画の方に報告したり、総合計画より連絡を受け、お互いに調整しながら策定を進めて行ければと考えています。</p>
堀川委員	<p>総合計画の中で、石油や電気などのエネルギーの話は出てますか。市街化調整区域が広く、自然エネルギーの有効活用が考えられます。市内のエネルギーを電気で賄うなど、特徴のある提言などは総合計画にありますか。</p>
吉村副会長	<p>聞いています。国の政策のような感じですが、どのような課が所管しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>環境保全課になります。</p>

大崎会長	<p>全体の意見を伺って、トップダウンの考えと、ボトムアップでニーズを集約する、両方が必要で、アンケートはボトムアップでニーズを把握し、トップダウンは皆さんがイメージをお持ちで、このような街になってほしいということだと思います。委員それぞれの立場で意見があってしかるべきですが、共有したイメージを持つことも大切かと思いました。</p>
事務局	<p>今後、総合計画と調整を図りながら、皆様にお示しできればと考えています。</p>
進 行	<p>【策定委員会の閉会】  それでは、これで、本日の予定は全て終了いたしました。なお、次回の策定委員会は11月頃を予定しており、その際は改めて通知させていただきますので、よろしく願いいたします。  以上をもちまして、第1回印西市都市計画マスタープラン策定委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。  (以上)</p>

令和元年8月6日に行われた印西市都市マスタープラン策定委員会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和元年9月18日

印西市都市マスタープラン策定委員会  
会 長

大 崎 淳 史

印西市都市マスタープラン策定委員会  
会議録署名委員

米 井 絹 恵